

令和4年度 第1回 長井市総合教育会議議事録

◇開催日時 令和4年10月6日(木) 午後2時～午後4時09分

◇開催場所 長井市役所 2階 庁議室

◇出席者

市長	内谷 重治
教育長	土屋 正人
教育長職務代理者	遠藤 倫夫
教育委員	菊池 和代
教育委員	小野 卓也
教育委員	鈴木 奈美

【事務局】

政策推進監	竹田 利弘
技 監	青木 邦博
総務参事兼地域づくり推進課長	新野 弘明
厚生参事	梅津 義徳
産業参事	赤間 茂樹
観光文化交流課長	渋谷 和志
健康スポーツ課長	高世 潤
教育総務課長兼給食共同調理場長	佐藤 秀人
学校教育課長	横澤 聡一
地域づくり推進課補佐	吉川 幸代
教育総務課教育総務主査	新野 武憲

- ◇日程
- 1 開 会
 - 2 市長あいさつ
 - 3 協 議
 - (1)次期・長井市教育等に関する施策の大綱について
 - ①長井市の大綱について
 - ②大綱に関する意見交換
 - 4 その他
 - 5 閉 会

◇議事内容

1 開会

【開会のあいさつ】…（事務局/教育総務課長）

2 市長あいさつ

お忙しい中会議へのご出席に感謝。鈴木奈美委員は教育委員になられて初めての会議なので会議のありかたを少々お話しする。市には執行機関としての市長部局と、市議会、行政委員会があり、教育委員会は行政委員会の1つ。教育は予算額が多く、教育委員会事務局が毎年の予算額を提案し、首長が査定し、議会に議決をもらう流れ。

令和3年5月から組織機構改革で生涯学習、文化、スポーツ分野を教育委員会から市長部局に移管した。総合教育会議は市の課題の共有のため、教育委員と市の幹部職員が意見交換する場。

教育委員会では令和3年度から小中学校将来構想検討委員会で市内の小中学校をどうするか議論頂いている。南北中は築41年目に入り、今年改修工事を行っているが、建物はもってあと20～30年。私の任期中はしたくないが、小学校、中学校の統合など、国の方向性も踏まえながら調査・検討をしていく必要はある。

来年開館の公共複合施設「くるんと」は建物の構造が出来てきた。現在、指定管理など運営について準備中。市としては生涯学習が課題と考えている。少子高齢化の社会で持続可能なまちづくりのために、忌憚のないご意見を頂きたい。

3 協議（座長・内谷市長）

(1)次期・長井市教育等に関する施策の大綱について

①長井市の大綱について

【説明】…（事務局/教育総務課教育総務主査）

〈大綱の法的位置づけ、市及び教育委員会の計画、次期大綱策定までのスケジュールについて説明〉

【質疑応答】

（産業参事）現在、市では第六次総合計画の取りまとめを進めているが、総合教育会議で策定する大綱は、教育、文化、スポーツ分野において、施策、事業の上位にある理念という考え方で良いか？

（教育総務課教育総務主査）ご指摘のとおり。

（総務参事）大綱を六次総に何らかの形で入れ込むことについて、既に総合政策課の担当職員とやり取りした経過はあるか？

（教育総務課教育総務主査）8月頃から事前に相談した経過あり。大綱を入れ込むことについても承知頂いている。

（技監）大綱の策定は市長権限とのことだが、教育委員会委員の意見はどう扱うか？

（教育総務課教育総務主査）教育委員には積極的に意見を述べていただくが、その全てが大綱に反映されるわけではない。地教行法上、大綱は市長の権限事項。

〈参考〉三鷹市の大綱について

【説明】…（事務局/教育総務課教育総務主査）

〈三鷹市の教育・生涯学習・文化・スポーツの組織・権限が長井市と似ていることを踏まえ、三鷹市の計画・大綱の構成を参考事例として説明。〉

【質疑応答】

(教育委員) 参考事例として説明があった三鷹市の計画は市長部局で策定したものが、この他に教育委員会で独自に策定している計画はあるか？

(教育長) 三鷹市教育委員会の計画は、これとは別にある。なお、長井市の現在の総合計画である五次総は、大綱の策定が義務となった平成 27 年度の地教行の改正前に先立って平成 26 年度から計画始まっていたため、五次総に大綱の記載はない。基本目標に対して枝分かれした施策の記載はあるが、大事な理念がわからない。三鷹市の例では理念と施策の関係性が上手く記載してある。

②大綱に関する意見交換

《教育委員へ事前配布した「大綱に関する意見交換シート」に沿って質疑応答》

【質疑応答】

1. 学校教育・コミュニティスクール・子供達の日常について

(教育委員) GIGA スクールで PC が授業のツールとして定着して欲しい一方、これからの時代は一斉に同じものを求めないことも大事になる。才能のあるギフテッドの子、何らかの事情を抱えている子、学校に馴染めない子など様々。探求型の学習は発展途上だが、今後必要な学びの手法として長い目で指導頂きたい。

(教育委員) スクールバスの小学生への拡充を検討できないか。年度初めの 4 月、学校から遠過ぎて泣きながら歩いている 1 年生や、母親がついてくる子もいる。地区でも話し合い、登下校中の低学年と高学年のかかわりは助け合いの視点でも大事であることを確認済みだが、冬期は歩道除雪が間に合わないことも多い。遠方の児童は学年問わずバス利用の拡充を検討いただければと思う。

(教育委員) 今年度から医療的ケア児対応が開始した。人員配置など対応は大変だが、対象児だけでなく他の子供達にも良い影響があり、結果良かったと思う。
コミュニティスクールは課題が多い。運営協議会で参加者が意見を述べるだけでは意味がない。学校で困っていることや、手を借りたいこと、探している人材など、学校から地区に対して遠慮なく助けを求めてほしい。意識や制度の改革が必要と思う。

(教育委員) 先生方には子供一人一人の特性に合わせて対応してくださっていると感ずる。ある学校では、居場所がない子が何となく職員室に遊びに来ている。先生はその子を受け入れ、ただ話を聴くだけだが、その様子を見ていて先生の人間味や愛情を感じた。学校は個々を大切に愛のある場所であって欲しい。

(教育長) これからは一律一斉ではない。誰一人取り残さない教育に拘ると、勉強のできる子が逆に取り残されてしまう。出来る子がいて、周りが触発されて、牽引されるようにしていく事が大事。コミュニティスクールはご指摘のとおり課題が多い。遠方の登下校の話にも関係するが、地域と話をすることがこれからの教育の柱。中学校の卒業を義務教育の出口ではなく、社会への入り口として考えることも必要。

(教育委員) 個々の対応を重視すると先生の負担は増える。マンツーマンにはできないし、少人数学級とするほど少子化が進んでいるわけでもない。過労死ライン超えの先生が多い問題は解決すべき。教員志望者も減っている。

(市長) 小学生の登下校のバス利用拡大の要望はよく上がってくる。考え方はいろいろあるが、時間が合えば市営バスに児童を乗せても良いと思っている。集団での登下校だけでなく、見守りも必要。一部の小学校ではスマホのSIMで位置情報がわかるシステムを導入している。体力的にきつそうだからバスに乗せたいという考えとは逆に、児童に歩かせたいという考えもある。立哨であいさつの声かけをしているが、最近は挨拶を返してくれない児童が増えた。コロナのせいかな、とても悲しい。校門付近で迎えても、知らない人だからか、返事をしてくれない。

(教育委員) 集団登校は年上の児童が手本となる。2~3人だと挨拶の声が小さくなる。1人では照れくさいのか、はにかむだけで挨拶を返してくれない子もいる。児童の性格にもよるが、あいさつ運動は学校、PTAで繰り返し取り組んでいる。児童からの返答が減った原因として、コロナの影響はあると思う。

2. 生涯学習・社会教育について

(教育委員) 令和3年5月に本市および教育委員会でおこなった組織機構改革による変化の状況を教えて頂きたい。

(市長) 私の反省でもあるが、社会教育分野の動きがわからなくなっていた。社会教育委員の任命手続きについて決裁の際に担当者に質問したが、担当者も詳しく答えられなかった。要は前任者からの引継ぎが不十分。令和3年度5月の新庁舎開庁と同時に組織機構改革をし、新型コロナのワクチン接種業務も重なり、繁忙のせいで引継ぎがうまくいっていない。総務参事にも変化の状況を聞きたい。

(総務参事) 社会教育分野で改善した点を紹介したい。見直しをしたのは少年議会。コロナ以降のこの2年、発表形式の少年議会をやめ、市長講話を市内の中高生向けにおこなった。今年度はバージョンアップし、中学校2校、高校2校の生徒による少年会議として開催予定。その事前レクチャーとして市長講話も行う。長井の将来について事前にワークをしてもらい、令和5年2月に各校代表者にワークショップ形式の会議を議場で発表してもらう予定。また、6地区のコミセンの連携は1つの法人化により相当改善された。一方、土曜らんどはコロナ禍で開催が難しい。生涯学習推進室から補足はあるか？

(地域づくり推進課補佐/生涯学習推進室長) 引継ぎがうまくいっていない部分もある。生涯学習、社会教育は人との繋がりが大事。多くの団体や関係者に関心を持ち続けてもらえるよう心がけている。伊佐沢では今年度、地区と小学校の合同で運動会を行った。これも良い事例の1つ。

(市長) 地域づくり推進課の生涯学習業務は初動に反省があった一方、改善点もあったとのこと。

(教育委員) 市報掲載のコミセン行事紹介を見て私も参加している。PRの成果はあると思う。生涯学習は学びの主体は個人。プログラムの用意があることはありがたい。一方、社会教育には狙いがある。学びたい側と狙いのマッチング、融和の計画が必要と思う。

(教育委員) 新しい図書館が出来るが、完成したら小中学生がこれまで以上に利用すると思う。学校と図書館の往復バスなどがあれば日頃の利用促進になり、習慣

づけば大人になっても図書館に行くと思う。移動図書館のいなほ号もあるが、広大な場所で本を探す楽しみもある。月1〜2回でも往復バスの機会があればありがたい。

(教育委員) 旧長井小学校第一校舎は生涯学習の場として成功していると思う。職員に活気があり、いつも何かイベントをしている。一方、市民文化会館と行事の重複が多い。市民文化会館運営審議会でも話し合ったが改善されていない。旧長井小学校第一校舎と市民文化会館の行事のすり合わせが必要ではないか。

公民館分館でソフトボール大会の参加者を募ったが、参加申し込みが1団体で試合が出来なかった。原因は高齢化と人口減。育成会行事も同様の傾向。ソフトボールチームも育成会での編成が困難になっている。コミセンも法人化により市全体で1つの法人になったので行事も広域的に進めてはどうか。地域再編もあるかもしれないが、分館だけでなく市全体での企画と実施が必要。

PTAについては母親委員会の存在が疑問。男女共同参画上、不要でないか。PTA会長になって欲しい優秀な女性が母親委員長となると、男性が会長になりがち。役職が性別で固定化してしまう。役員は概ね1年更新なので、何となく1年が終わって前年踏襲が続く。この体制が改善出来れば。

(教育委員) 母親委員会の状況については同意。昨今、学校では探究型の学習が叫ばれてきた。生涯学習分野であるコミセン事業も、全て用意されたものではなく、自分で考えてやることが増えた。これは大事な流れ。伊佐沢の運動会の地域共有は他地区でも学ぶべきこと。

(教育長) 全国PTA大会が先日山形県内であった。大会に参加された方はわかると思うが、母親委員会というのは上部の全国、県等のPTAの組織に合わせたもの。ご指摘のとおり、学校単位のPTAはもっと柔軟にできれば良いのだが。

(教育委員) 母親委員長は、会長並みに地域の会議等への出席回数が多いのでは。

(教育委員) PTAの役員をしていると地域の行事や会議にも招致がある。

(政策推進監) 旧長井小学校第一校舎と市民文化会館の指定管理者選定の際のプロポーザル審査では提案内容に重複は無かったが、いざ運営が始まると重複があるようだ。提案内容を履行してもらうよう、所管課からも指導していく。

(教育委員) 2施設の館長の協議の場はあるか？それが無いから重複するのでは。

(市長) その調整は総合政策課になるか？

(政策推進監) 総合政策課は旧長井小学校第一校舎が所管。市民文化会館は所管していないが、関係各課によるコントロールは必要。

(市長) 市民文化会館は使用料を徴収する貸し館に徹底している印象がある。自主財源確保のために減免対象となる市の事業が入りにくいと聞いた。

(産業参事) 市民文化会館は芸術文化の場。旧長井小学校第一校舎はむしろ文教の杜と行事の重複が多い。第一校舎が人気の場所だからかもしれない。館長同士の協議の場は要検討。

(観光文化交流課長) 実のところ、市民文化会館には行事の重複を避けるように指導しており、館長同士の事前調整も指示した経過がある。しかし実際に話し合いがなされていないとすると、私が間に入って協議の場を設定する必要がある。来年度は新しい施設「くるんと」が出来るので更に行事の調整が必要になる。

(市長) 余談だが、商工会議所管轄の TAS の e スポーツもウェルビーイングの場としてやっていきたい。館長会議や意見交換の場は月 1 回程度必要と思う。コミセンも事務局だけで良いので参加してもらいたい。

(産業参事) 平成 20 年頃から、ANO 会議という名でイベント調整等の情報交換の場を設けていた経過がある。そういう機会は確かに必要。

(教育委員) 意見交換だけでなく、各団体の得意、不得意を補えるような提案があれば。事業重複や集客の競争は避け、協力関係を築いてもらいたい。

3. 文化・スポーツ分野について

(教育委員) 陸上、駅伝の大会は長井市で開催されるが、他のスポーツについては大会開催地として当市は選ばれていない。他のスポーツも誘致できれば。

(教育委員) 私はバレーボールを 10 年やっているが、地域に社会人団体が無いので地元のママさんバレーに入れてもらっている。中年以下、若い人、誰でも参加でき、日常的にスポーツが出来るように、社会人団体の活動のテコ入れ、盛り上げが必要。結果、健康づくりにも繋がる。

(教育委員) 雪国なので冬のスポーツにも注力してもらいたい。道照寺平スキー場にはナイター設備がないので夕方以降の練習や指導が出来ない。スキー振興のためナイター設備の整備を期待する。

(教育委員) 芸術鑑賞については柔軟さが必要と思う。絵画やクラシック、民謡などは歴史的な芸術として大切だが、現代の芸術は漫画の原画やポップス。子供達が何を見たいのか、何をしたいのかを聞いてみることも良いのでは。選択肢がもっと増えると良い。

(教育委員) 文化財に関しては 2 点話したい。1 点目は価値の周知について。現在、古代の丘で刀工展を開催し、長井の刀工 4 家の作品が展示されている。高額な刀もあり、市民にもその価値や歴史に気づいてもらいたい。2 点目は維持管理について。市の天然記念物である上伊佐沢のホウキ松が折れており、文化財保護協会から連絡あり。市の観光文化交流課でも何が出来るか話し合い、地区にも投げかけ、まずは現状の情報共有を行ったとのこと。人口減少や高齢化の中で維持管理は大きな課題。

(教育長) 市民文化会館や生涯学習プラザは指定管理者の主体的な運営がポイントになってくると思う。

(市長) 文化団体は高齢化が課題。若い人にもっと施設を活用してもらいたい。スポーツ団体も似たような状況。スポーツ協会が法人化されたが、事業運営の変化はあまりない。陸上の大会を誘致してきたのは陸協。他の競技は大会誘致が出来ていない。

道照寺平スキー場のナイター設備のご指摘はごもっとも。長井ダム整備の後、ナイター設備があった白山森スキー場を辞めて道照寺平に一本化したが、財源がない時期と重なり整備が中途半端だった。toto の補助金を使えることが分かったので活用を検討中。

なお、市の施設や小中学校のうち、竣工から 40 年以上経過して改修が必要な建物が多い。財政的には今が一番大変な時期。

(教育委員) 学校の部活動は社会人スポーツと繋げてほしい。部活の指導員となる人も居るかもしれない。教員の負担も減る。

(市長) 市民1人1スポーツを目指しているが、課題は多い。西根地区のときめきスポーツクラブや、スポーツ協会による花のまちスポーツクラブも会員が増えず長続きしなかった。これは考え方を变える必要がある。指定管理で全てやるとなれば、技能のあるコーチを雇い、無料ではなく会費や受講料の徴収は必要。指導者の費用保障等についても行政対応が必要になる。所管する健康スポーツ課には益々頑張ってもらう必要がある。

4. 小中学校将来構想検討委員会で挙がってきた理想の子供の姿について

(教育委員) これまで検討委員会に参加しての感想。「将来の社会を担う」「世界と上手につながっていける」というのは少々ハードルが高い。子供の社会・地域へのかかわりについては、今の子供達は地域内で純粋培養されているように感じる。今の子供は国や世界への興味が無い。日本財団の18歳意識調査によると、日本の若者は「自分を大人」「責任ある社会の一員」と考える割合が30~40%しかなく、他国に比べて著しく低い。要は自分の世界でしか生きていない。子供会はキャンプやお祭りに参加するが、地域の清掃や川払いには来ない。世界に目を向ける前に、ふるさとや足元に目を向ける育成も必要。検討委員会でも挙がっていたように、学校施設については、子供と社会が繋がる手段の1つとして、コミセン、老若男女の集うサロン、学童クラブ等との合築はありだと思ふ。

(教育委員) 伊佐沢小学校では英語に特化している。他校でも特化した事項をつくり、居住区域によらず子供が学校を選べるようになると良いのではないか。小中学校の連携だけでなく高校連携も必要。置賜から全国大会で第何位というような人材を輩出できるようになれば、子供達も地元をより深く愛せるようになると思ふ。

ふるさとを好きな子供は多いが、将来帰って来るかはわからない。人口減と税収減は地方自治体の課題。税収だけ考えるのであれば、優秀な人材を育てて高収入な仕事に就いてもらい、ふるさと納税を期待する、という考えもある。市外に出てもふるさとのことを思ってもらうにはどうするか。大人達が笑顔でないと、子供達も笑顔でいられない。下の世代に引き継げるよう、私たちが気を付けないといけない。

学校は夜遅くまで電気がついている。先生の帰りが遅いことは外から見てもわかる。教員の働き方改革も大事。皆が幸せになるようなまちづくりが必要。

(教育委員) 検討委員会では、山大の江間教授から学年区切りの変更事例として4・3・2制の話聞き、アイデアとしては良いなと思ふ。ワークショップでは、将来こうなってほしい、という希望を挙げていった。実現に際し、その仕事を担う人が地域に居ればよいが、その主体は教員にならざるを得ないのではないか。教員の業務負担が過大になっている昨今、更なる負担増はパフォーマンスを下げる。今実施していることのサポートが進まないと、次やろうとしていることまで手が回らない。改革は一見良さそうに見えるが、そう簡単には上手くいかないのではないか。

(教育委員) 3つの理想の姿は、学力だけでなく、生きていく力を育てるためのテーマと感じた。英語なら、文法よりも会話力重視など。楽しい、面白いはすべての原動力になる。子供達の興味・関心のきっかけの1つとして、専門家のオンライン授業などが出来ればありがたい。

(市長) 今日は時間が足りず、大綱の理念やキーワードまで至らなかった。次回、振り返りながらご意見を伺うこととする。管理職から補足事項はあるか。

(新野参事) 今日は図書館や公共交通などについても課題を頂いた。即答は難しいので、議事録を確認しながら、次回会議で回答させていただく。

(市長) 皆さんに議事録を送る。論点を整理し、次回も意見交換を継続していく。

4 その他 …《特になし》

5 開会

【閉会のあいさつ】… (事務局/教育総務課長)

(会議 16:09 終了)

以上